

下田市 津波

【全域版】ハザードマップ

ハザードマップについて

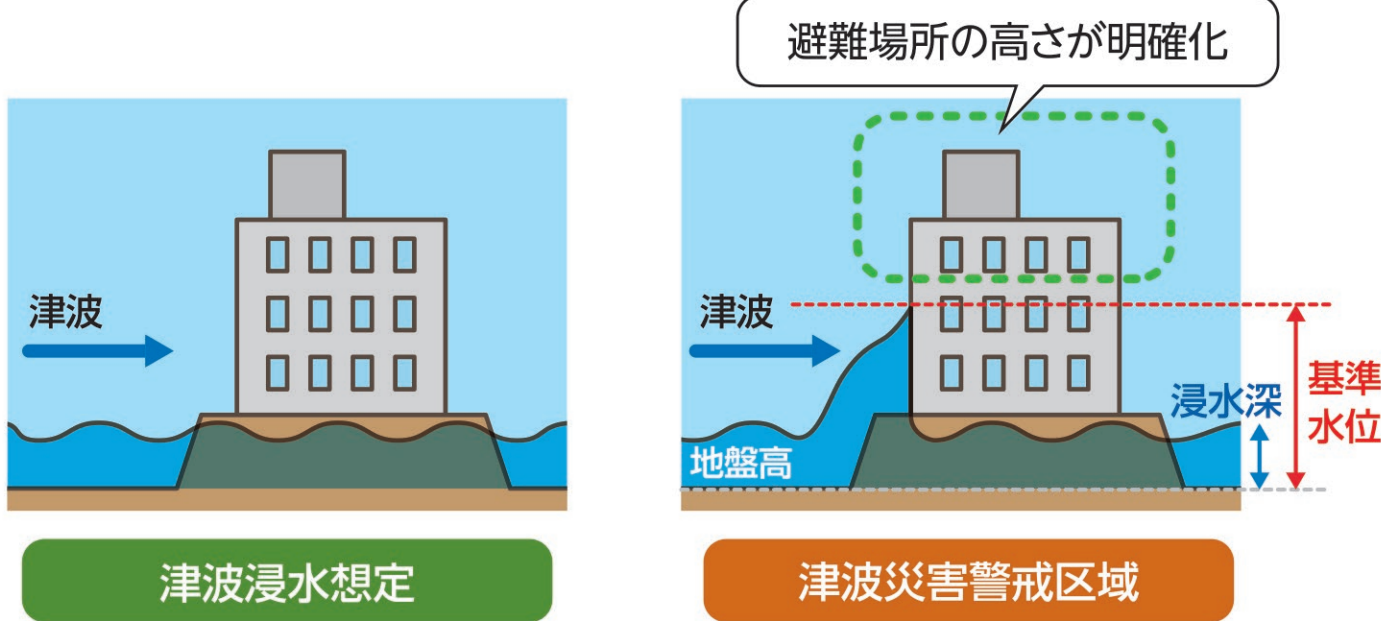
このハザードマップは、静岡県の実施した「静岡県第4次地震被害想定」における最大クラスの津波（レベル2津波）が発生した場合の浸水想定区域、基準水位、避難場所などの情報を示しています。この全域版以外に下田地区、稻生沢地区、浜崎地区、朝日地区、白浜地区の5つの地区版も作成しています。

実際の津波が想定通りの結果になるとは限りませんが、このマップを利用していただき、いざというときに適切な避難行動をとれるよう備えましょう。

津波警戒区域と基準水位

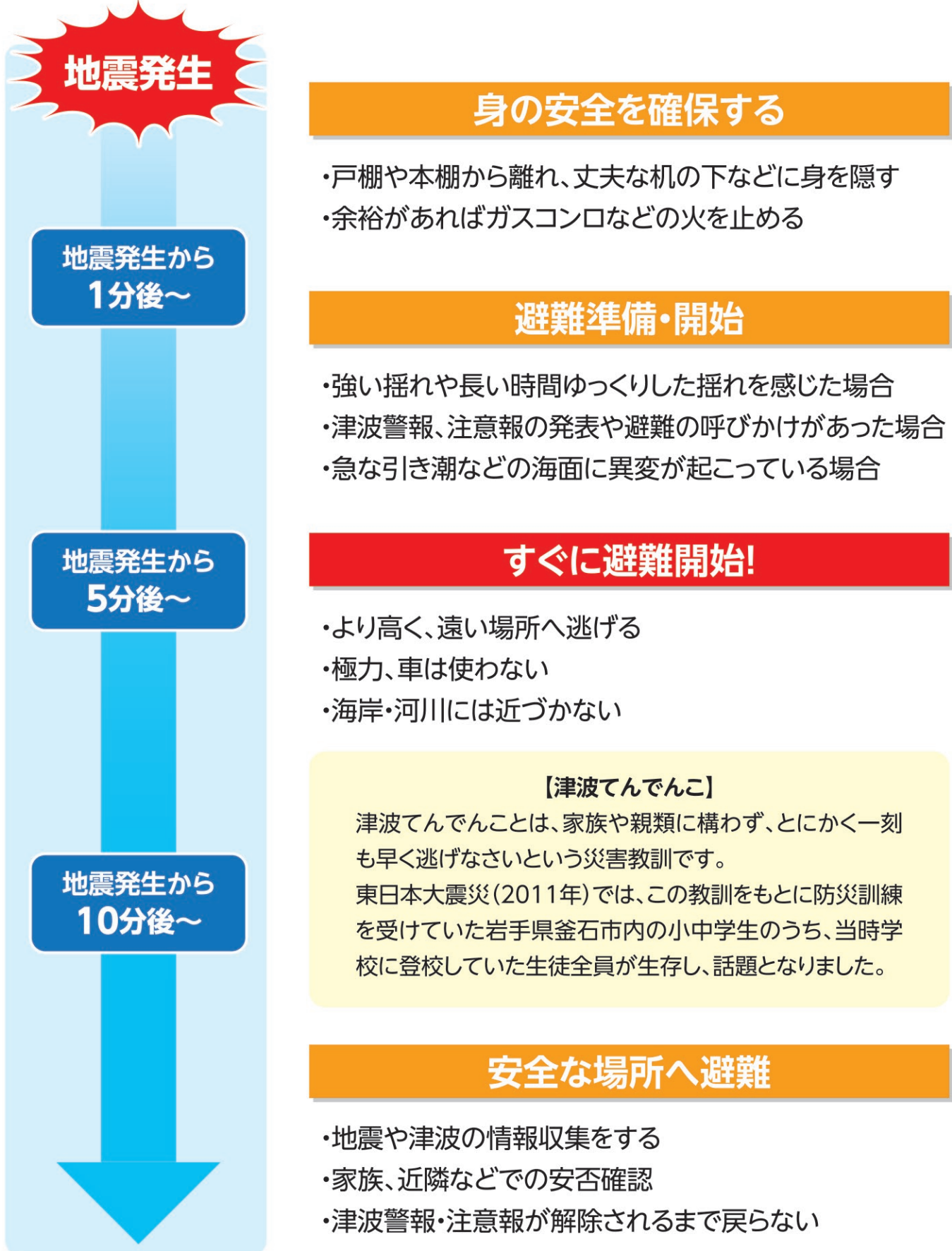
最大クラスの津波が発生した場合に、住民等に被害が生ずるおそれがあるとされ、警戒避難体制を特に整備すべき区域を「**津波災害警戒区域**」といい都道府県により指定されます。区域指定の際には、浸水深に津波が建築物等に衝突した時に生じるせり上がり高さを加えた水位である「**基準水位**」も公表されます。

下田市津波ハザードマップではこの「**基準水位**」を掲載しています。



避難行動タイムライン

津波は地震の予測ができないため、発生から避難までの時間が洪水等に比べてありません。事前に津波が起きたらどうするかを考え、タイムラインを作成しておきましょう。地震発生から5分後の避難が目安とされていますが、少しでも早く避難を開始できるよう準備してください。



津波からの避難

津波災害は避難することで命を守るる災害です。

一刻も早く、高く、遠くへ

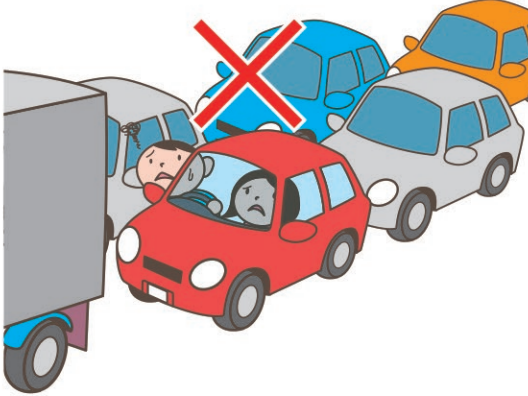
津波から避難するときは、より高く、遠くへ逃げましょう。

避難はなるべく徒歩で

車の避難は、地震による道路の損傷、建物の倒壊などの影響を受けるほか、渋滞により避難が遅れることがあります。また、他の徒歩避難者の円滑かつ安全な避難の妨げとなります。

家庭や地域で避難方法を話し合う

津波災害から命を守るため、普段から家庭や地域で避難経路や避難場所などを話し合いましょう。



- 強い揺れを感じた時または弱い揺れであっても、長い時間ゆっくりとした揺れを感じた時は、ただちに海岸から離れ、安全な場所に避難する。
 - 揺れを感じなくても、津波警報・注意報が発表された時は、ただちに海岸から離れ、安全な場所に避難する。
 - 津波警報・注意報の発表中は、海水浴や釣りは危険なため、絶対にしない。
 - 津波は繰り返し襲ってくるので、警報・注意報の解除まで海岸に近づかない。
- 海水浴や釣り等、海のレジャーの際には、あらかじめ津波避難施設や避難経路を確認しましょう。

「釜石の奇跡」に学ぶ避難の三原則

想定にとらわれるな

東日本大震災では予想をはるかに超える大津波が襲来しました。想定にとらわれず、避難を最優先しましょう。

最善を尽くせ

相手は自然です。「自分は大丈夫」、「ここまで来れば大丈夫」ではなく、そのときできることに全力を注ぎましょう。

率先避難者たれ

いざというときは率先して避難しましょう。その姿が他の人の避難を促し、多くの命を救うことにつながります。

非常時持ち出し品

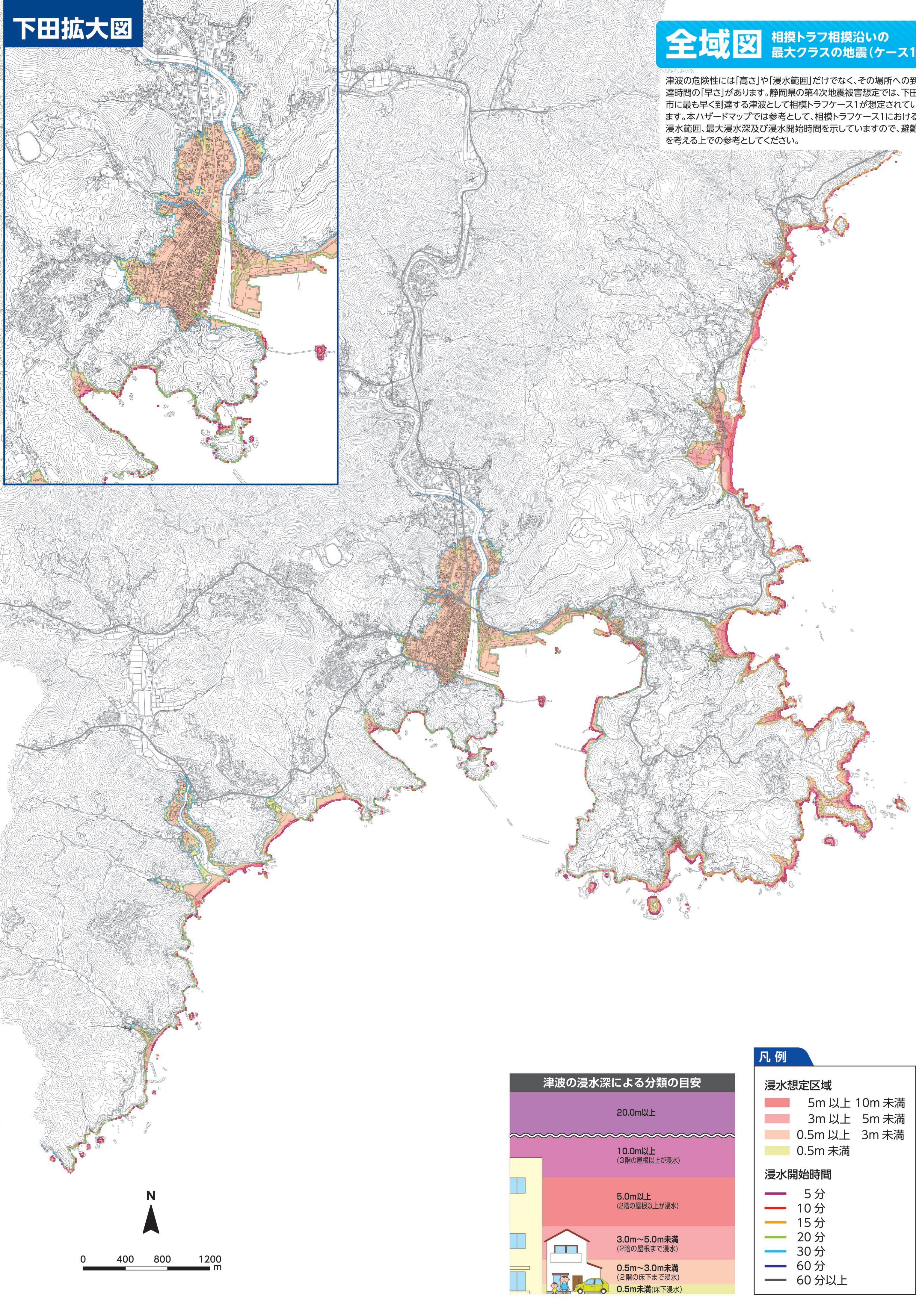
非常時持ち出し品はリュックサックにまとめ、いつでも持ち出せるところに置きましょう。

☐ 貴重品 現金（10円玉、100円玉があると公衆電話利用に便利）、預金通帳、印鑑、免許証、保険証、権利証書など 	☐ 非常食・飲料水 火を通さなくても食べられるものが便利 	☐ 衣類 タオル、下着、靴下など
☐ 救急医薬品・常備薬 ばんそうこう、傷薬、包帯、胃腸薬、持病のあるかたは常備薬など 	☐ 携帯ラジオ AM、FM両方が聞けるものを。予備電池も用意 	☐ 携帯電話 充電器も用意
☐ 懐中電灯 できれば1人に1つ、予備電池も用意 	☐ その他必要なもの ティッシュ、軍手、ロープ、マッチ、洗面用具、生理用品、筆記用具など 	ご自身の環境に合わせて、必要なものを準備してください。

非常備蓄品をそろえよう（最低3日間、推奨1週間）

☐ 日頃の買い置き 保存性のよい食料や水を買置きし、消費したら買い足す（ローリングストック法）	☐ 3日分以上の食料 缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、お菓子、調味料、スープなど	☐ 飲料水 大人1人当たり1日 2～3リットル	☐ カセットコンロ・ガスボンベなど	☐ 缶切り	☐ ラップ
---	---	---	--	------------------------------	------------------------------

下田拡大図



全域図 相模トラフ相模沿いの最大クラスの地震（ケース1）

津波の危険性には「高さ」や「浸水範囲」だけでなく、その場所への到達時間の「早さ」があります。静岡県の第4次地震被害想定では、下田市に最も早く到達する津波として相模トラフケース1が想定されています。本ハザードマップでは参考として、相模トラフケース1における浸水範囲、最大浸水深及び浸水開始時間を示していますので、避難を考える上での参考としてください。